

(株)ニチレイ社有地 第5回植物相調査報告

2014年7月27日(日)に、黒沢研、塘研、木村研、難波研、廣瀬先生の連携研究「裏磐梯湖沼の生物相および周辺植生の総合調査」の一環として、木村研究室4年の石川君と黒沢研究室4年の遠藤の2名で、(株)ニチレイ社有地の第5回植物相調査を実施しました。

まず、珍しい植物がまだあるかもしれないということで、前回調査で発見した冷涼な岩場に行ってみました。ところが、調査を始めた途端に激しい雨が降ってきたため、一度引き返すことにしました。雨が小降りになったので調査を再開しましたが、この冷涼な岩場では、特にこれといったものは発見できませんでした。次に、旧桧原湖探勝路から1の沼に出て、そのまま3の沼まで向かいました。この時も強い雨に降られましたが、やぶこきをして、もうとっくの昔にずぶ濡れになっていたため、調査を強行しました。3の沼ではこの前と比べて水位が幾分高くなっていて驚きました。

全体としてあまり花らしい花はなく、風が寒く感じられたので早めに調査を終えることにしました。大学への帰路、土湯峠を越えたあたりで天候が回復したのは残念でした。次回調査は、8月8日を予定しています。



写真1, 高山性のシダ植物



写真2, 冷涼な岩場の様子
ほとんどがコケ, シダ植物